

守山市議会 海外研修 やっと 廃止

県内で最後

財政が逼迫している時に、「税金の無駄遣い」として、批判の多かった守山市議会議員の海外視察。今年度の議員クラブ総会で、「今後は実施しない」ことが決まりました。これまで毎年2人、県と市の合計で100万円の公費を支出していました。県も市も財政が厳しい時に、この公費支出は適切なのか、と批判が寄せられ、不参加を表明する自治体が相次ぐ中、最後まで参加していたのは、県内で守山市議会だけでした。

無条件撤去こそ解決の道

沖縄・米軍 普天間基地



民主・鳩山代表は「国外、最低でも県外移設」と公約していたのに… 名護市沿岸に滑走路、徳之島にヘリ部隊を移設

昨年夏の総選挙で、民主党の鳩山代表は「(普天間基地は)国外、最低でも県外移設」と公約していたにもかかわらず、期待を寄せた沖縄県民ははじめ多くの国民を二重三重に裏切り、鳩山首相が出してきた「腹案」は、サンゴ礁が綺麗な名護市の沿岸に杭をうち棧橋をつくらせて滑走路をつくる。鹿児島県徳之島にはヘリ部隊を移設する、というものでした。これは文字通りの公約違反です。無条件撤去こそ解決の道筋であり、その立場からアメリカ政府にきっぱりと意見をいうべきです。日本共産党はいま、この普天間基地問題を特集した「しんぶん赤旗」号外を各家庭に配布していますが、9日には小牧議員を先頭に市内各地で街頭から訴えました。

鳩山首相は「米海兵隊は日本を守る抑止力…」といいますが 敵陣強襲の「殴り込み」部隊

沖縄本島の18%、県全体の10%が米軍基地。焦点の普天間基地は、上の写真のように市街地のご真ん中にあり、周囲には9万人の市民が居住し、121ヶ所の公共施設が、フェンス1枚で隣接する普天間高校の女子生徒は、先の9万人県民集会で訴えました。

「厚さ6cmの窓。その窓のつばいに見える飛行機の胴体。グラウンドに出れば騒音とともにやってくる黒い影。授業中でもテスト中でも、容赦なく中断させる音。学校までの通学路は、どこまでも長い基地のフェンスが続きます。基地から上がる星条旗が見えま

す。いったいフェンスで囲まれているのは基地なの。それとも私たちなの。」

鳩山首相は「日米関係、米海兵隊が日本を守ってくれる」と言い訳していますが、海兵隊は日本を守る軍隊ではありません。それは、ベトナム、湾岸、アフガニスタン、イラク…アメ

リカの先制攻撃のなかでも、敵陣強襲の野蛮な「殴り込み部隊」として知られています。むしろ、米海兵隊が沖縄に駐留すること事態、日本の平和と安全が脅かされているのです。無条件撤去こそ、沖縄県民の総意であり、解決の道です。

総務常任委員会で視察研修

日本共産党の小牧一美議員は、5月10日から12日まで、2泊3日で、議会総務常任委員会の県外研修に参加しました。地方自治体の政策研究・提案を行う「シンクタンク」をもつ東京都世田谷区と、新潟県上越市を訪問。新潟県糸魚川市では、市独自の補助金を交付し市民活動を応援する「まちづくりパワーアップ事業」について、その「先進的取組」を研修しました。詳細は、次号で。議員の資質向上、見識を高め、全国の先進的な取組を学び、それを市政に生かすことは大事なことです。「2泊3日」が必要かどうか、他市ではほとんどが「1泊2日」、また、研修内容が精査されています。



東京と新潟 自治体のシンクタンク まちづくり応援事業

日本共産党 守山民報

守山市議会議員 こまき一美

TEL・FAX 582-3785
http://komaki.jcp-web.net/

党守山市くらし対策責任者 まつば栄太郎

TEL 584-3077
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行 482号 2010・5・12 TEL 583-8552 FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45～6:45 守山駅で街頭宣伝しています。